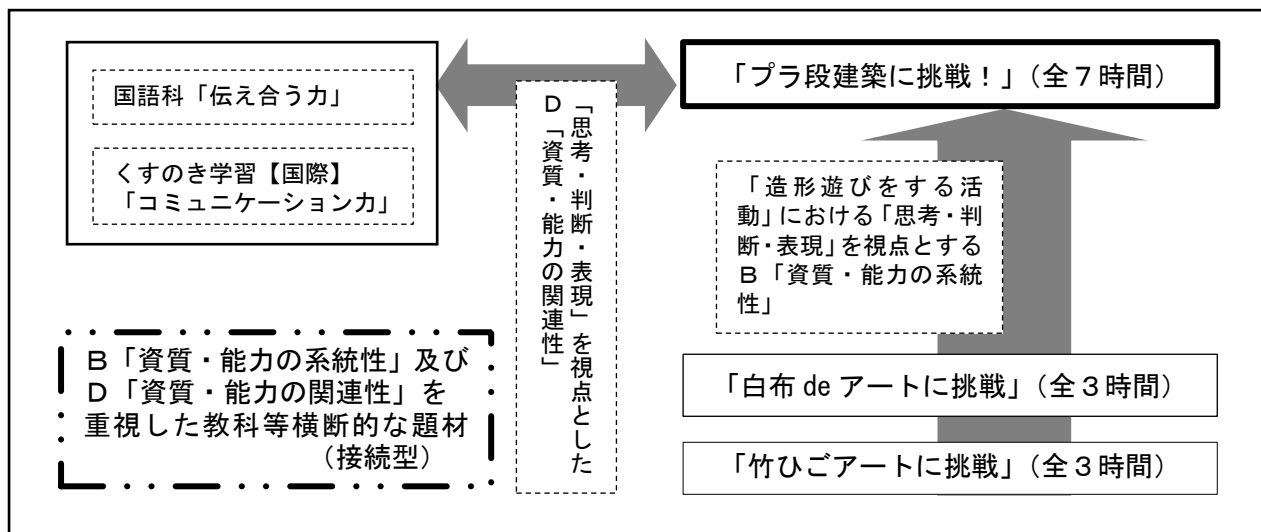


## 1 題材全体構想図



## 2 題材構想について

本題材は、「造形遊び」を視点とするB「資質・能力の系統性」及び、「思考・判断・表現」を視点とするD「資質・能力の関連性」を重視した接続型の題材である。

本学級の子どもは、その多くが造形活動や造形物に関心を持ち、表現したり鑑賞したりすることを楽しんでいる。その中で、自己表現することの喜びや充足感を得たり、他者の考え方や表し方のよさを感じ取ったりすることができつつある。一方で、個々の見方や考え方に固執したり、新しいことを思い付いても難しいと感じるとそれを避けたりする傾向も見られ、積極的なイメージの拡大・深化や、新しい技能の獲得・更新につながりにくいこともある。また、他者とのかかわりにおいては、その対象が限定的になったり、かかわりから新たに生まれるもの・ことへ、意識が十分に向いていなかったりする傾向もある。

そこで、子どもと材料、他者など、身の回りのもの・こと・人との主体的なかかわりを重視し、造形遊びの要素を加味した学習課題・学習過程を設定することにより、子ども一人一人が、能動的に「かかわる」ことと「つくる」ことを往還させながらそうぞうする力を発揮し、高めていくことを目指し、本題材を構想した。


本題材では、プラスチック段ボール（以下プラ段）を主材料とし、その透過性を生かした活動の広がりを想定して、光を副材料として使用する。プラ段は、ある程度の強度を持ちながらも、切る、切り抜く、折る、丸める、編むなどの操作が比較的容易にできる。主材料を単純な面材に制限し、その操作方法に注目させることにより、子どもは材料とのかかわりを深めながら、様々な形の線や面の組み合わせによる立体的で多様な構成美、さらには光との組み合わせによる、総合的な造形美をつくりだしていくことができると考える。

また、他者とのかかわりを促す環境や状況の設定を工夫することにより、子どもの活動が、自然発生的に、個から小集団へ、そして全体へと広がっていくことを期待する。その過程において、子どもは、他者や自分自身との対話を繰り返しながら、つくるという行為を連続的・発展的に生み出していくであろう。さらに子どもは、言語で、そして表情や行為、色や形など言語外の要素を使って、よりよく自己表現したり相手を理解したりする力を発揮し、更新していくであろう。そして、自分（たち）のつくりだした形や光、影などの美しさを目にしたとき、あるいは鑑賞者の好意的な反応を感じたとき、子どもは「つくりだす喜び」を深く感じ、その行為者としての自分や他者の存在の価値を改めて見詰め直すことができると考える。

### 3 題材のねらい

- 感覚や思考を働かせながら材料や道具にかかわり、それらの特性や操作によってできる形の美しさや面白さに気付く。
- 材料の特性から多様な操作方法を考え、形や色などから自分のイメージを持ったり、更新したりしながら、つくり方を工夫して表す。
- 他者や環境とかかわり合いながら、新しいもの・ことをつくりだす楽しさや喜びを感じたり、表現されたもの・ことから、自分の見方や感じ方を深めたりする。

### 4 題材の指導計画（全7時間）

| 場面               | 子どもの課題意識と主な学習活動  | 評価の規準  | 時間                 |
|------------------|--|--|--------------------|
| 出<br>合<br>い      | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">プラ段を切ってみよう、組んでみよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ プラ段を様々な形に切ったり、切り抜いたり、丸めたり組み合わせたりする行為を楽しみながら、材料の特性を掴む。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 道具や指先を操作し、形をつくったり構成したりすることを楽しみながら、材料の特性やよさを感じ取っている。</li> </ul>  | 1                  |
| 追<br>究           | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">プラ段建築に挑戦しよう！</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 材料の透過性や操作性を生かし、光の効果や構成などを考えながら、自分だけの「建築物」をつくる。</li> </ul> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他者の行為や表現から、異同やよさを感じ取り、自分の表現に生かしたり、自他の作品をつないだりして、更につくりかえる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● つくりながら自分のテーマを見付け、よりよい表し方を考えたり他者と話し合ったりしながら、継続的・発展的に活動している。</li> <li>● 環境に働き掛けたり、集合体としての美しさを考えたりしながら、自分（たち）の造形物の見せ方を工夫して展示している。</li> </ul> | 5<br><br>本時<br>その4 |
| 振<br>り<br>返<br>り | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">「4花✿光の街（仮）」をみんなに紹介しよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他クラスやファミリーの友達を招待し、自分たちの活動について紹介したり、感想を聞いたりして、自分（たち）の行為や作品を見詰め直す。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分（たち）の表現意図を紹介したり、他者の意見を聞いたりしながら、見方や感じ方を広げている。</li> </ul>   | 1                  |

### 5 題材における指導と評価の工夫

| 場面               | 三つの場面ごとの指導と評価の工夫   |
|------------------|--|
| 出<br>合<br>い      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 材料や道具に十分にかかわることができる時間を保障し、個々のつぶやきや工夫を採り上げて賞揚したり集団で共有したりして、活動への自信と期待を高める。</li> <li>・ 活動の様態を観察したり、図工日記を分析したりして、「【心】の動き」や「【力】の高まり」を見取る。</li> </ul>   |
| 追<br>究           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自由度の高いテーマを設定することで、子どものイメージを多様化させたり、見通しを持たせたりし、活動への戸惑いや不安を軽減する。</li> <li>・ 見取りを基に、個々や集団への指導言を工夫し、必要に応じてプラ段以外の材料や方法の提案を行ったりしながら、思考の広がりや深まりを促し、活動を活性化させる。</li> <li>・ 他者とのかかわりを促す環境や状況の設定を行い、協働してつくりだす楽しさやよさを感じられるようにする。</li> <li>・ 様態の観察と図工日記の分析を継続して行うと共に、必要に応じて子どもによる他者評価（相互鑑賞）の機会を持つことで、子どもの見方・考え方の見取りを補完する。</li> </ul> |
| 振<br>り<br>返<br>り | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自他のつくりだした形のよさや表し方の工夫を認め合えるよう、活動中の様子を含めた、作品の相互鑑賞の時間を確保するとともに、展示を公開し、学級や学年を超えた他者からの反応を感じられるようにすることで、充実感をより高められるようにする。</li> <li>・ 活動の過程を写真や動画を用いて振り返ったり、題材の振り返りカードを記入したりして、本題材の学びの意味や価値について考え、自分自身や身の回りの環境などについて見詰め直すことにつなげる。</li> </ul>   |

6 本時の指導（5／7）

- (1) 日時 平成31年2月1日（金）11：30～12：15
- (2) 場所 図画室
- (3) ねらい できた形や光の効果から発想を広げたり、材料とのかかわりや他者との対話を深めたりしながら、更に形を発展させる。
- (4) 準備物 プラ段、はさみ、カッター、接着剤、光源、カラーセロファン等
- (5) 展開

| 学習活動  | 予想される子どもの意識の流れ   | 指導（○）と（●評価）   |
|---|--|---|
| <p>1 前時の活動を振り返り、本時の目標を持つ。</p>                 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ライトアップしてみよう！</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな風に見えるかな。</li> <li>・きれい！イルミネーションみたい。</li> <li>・ライトの場所を変えたいな。</li> <li>・穴のところの光は強くて、他は弱いよ。</li> <li>・あれ？意外と地味だな。</li> <li>・見て！影もきれい！</li> </ul>  | <p>○ 前時までの形を見てよさや工夫を紹介し合ったり、ライトアップした様子を見詰めたりすることで、本時の活動のイメージを全体で共有し、活動意欲を高めることができるようにする。</p>  |
| <p>2 新しく思い付いたことを試しながら、更に形を発展させる。</p>          | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">気付いたことを生かして、もっと建築を進めていこう！</div>  | <p>○ 子どもの対話が促進されたり、新たな考えが芽生えたりするように、対話を通して支援する。</p>   |
| <p>3 自分（たち）の表現のよさを紹介したり、他者の表現のよさを見付けたりする。</p> | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>↑ ↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（もっと穴を開けてみよう。どんな形が合うかな。</li> <li>（もっと丈夫に組み立てないと。みんなの丈夫さの秘密を探ってみよう。</li> <li>（橋をつかって○ ○さんたちとつなげてみよう！</li> <li>（宇宙ステーションみたいになってきたよ。</li> </ul> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>↑ ↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（重ねすぎると光が通りにくいから、重ね方を変えてみよう。</li> <li>（ここ、謎の世界の入口みたいだね。じゃあ、この続き、つくってみようよ。</li> <li>（あの揺れ方、いいな。</li> <li>（光の色って変えられないのかな？</li> </ul> </div> </div> | <p>○ タブレット型PCを使って子どもの活動を記録し、活動が停滞する子どもに紹介したり、振り返りの際の資料としたりする。</p> <p>○ 他者との交流が生まれるように、つながりを持たせる声掛けをしたり、活動スペースや材料の配置などの環境構成を工夫したりする。</p> |
| <p>4 活動を振り返り、気付いたことや考えたことを他者と共有する。</p>        | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">友達のいいところを取り入れて、もっと工夫を考えてみよう。</div><br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">完成に向けて、次はどんなことをしようかな。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○さんたちとつなげようと思ったら、どんどん新しいアイデアがわいてきた！</li> <li>・細かい凸凹があった方が影がきれいに見えたから、あとは細かい飾りをつくろう。</li> <li>・まだまだつくりたい！次の時間が楽しみ！</li> <li>・みんなの建築を集めたらおもしろい街ができそう！</li> </ul>  | <p>● 対話と試行錯誤を繰り返しながら、よりよい表現をつくりだそうとしているか。 [様態・作品]</p> <p>○ 再度ライトアップし、本時の活動の感想や、活動を通しての気付きなどを発表させることにより、本活動の価値を考えさせ、次時への意欲を高める。</p>      |

## 7 評価の具体的な方法

### (1) 授業における子どもの見取り (★力♡心)

|                  |   |
|------------------|---|
| 出<br>合<br>い      | <p>材料：プラ段との出会いの反応・操作方法を試行錯誤しているときの様態・ワークシート</p> <p>視点：★ プラ段を観察したり操作したりすることで、過去の経験を思い出したり、プラ段の特性を感じ取ったりしながら、やりたいこと、できそうなことを口々に話し合ったり、試したりしている。(⇨戸惑い、無関心、無反応、造形的思考を伴わない雑談や手遊びなど)</p> <p>♡ プラ段の操作を積極的に楽しんだり、「プラ段建築」というキーワードの提示に対して、「面白そう」「えー、どうやって」「やりたい」などの声や表情など、肯定的な反応を見せたりする。(⇨消極的、無反応あるいは「えー・・・」「無理」などの否定的反応)</p>             |
| 追<br>究           | <p>材料：造形行為・発言・表情・作品・図工日記など</p> <p>視点：★ 手や道具を使って、プラ段を操作し、やりたいことを連続的に思い付いたり、組合せ方やつなぎ方を工夫したりして活動している。他者の活動のよさを見付けたり取り入れたりしようとする。(⇨造形的思考を伴わない単純な反復、他者の行為への単純な追随、思考・行為の停滞など)</p> <p>♡ すぐに活動が始まり、片付けの時間まで絶えずつくったり考えたりしている。共同(協働)する仲間と対話しながら、活発に活動している。他者の活動にも関心を示す。(⇨見るだけの消極的参加、あるいは他者との雑談に終始したり、造形的思考を伴わない遊びに終始したりする状態)</p>          |
| 振<br>り<br>返<br>り | <p>材料：相互鑑賞における反応・振り返りカード・作品など</p> <p>視点：★ 「〇〇するのに～しているところがすごい工夫」「～だから〇〇な感じがする」「自分(たち)は～したけど〇〇さん(たち)は～しているので驚いた」「～したら〇〇できた」「さらに～したら〇〇できそう」など、自他の工夫やイメージ、発展の可能性などについて、自分の言葉で述べたり書いたりしている。(⇨「すごい」「いい」などの単純な感想。)</p> <p>♡ 自他の活動や活動を通して生まれた形のよさなどを、自信や満足感を感じながら語り合ったり、尋ね合ったりしている。紹介したい相手を思い浮かべている。(⇨自他の表現に無関心、あるいは否定的な反応に終始する状態)</p> |

### (2) 子どもの自己評価 (図工日記・振り返りカード)

#### ア 表現についての記述内容

図工日記の自由記述の内容から、「【心】の動き」や「【力】の高まり」を見取り、指導計画や実際の指導に活用する。

#### イ 自己評価の数値化

図工日記では、主に「【心】の動き」に関する4項目について5段階評価を行う。この数値の変容も、子どもの見取りの補助資料とし、指導計画や実際の指導を行う。

#### ウ 学びの振り返り

題材終了後の振り返りカードでは、自由記述と共に、「【心】の動き」や「【力】の高まり」に関する8項目について5段階で自己評価する。記述内容や自己評価の数値を基に、指導を振り返ったり、次の題材構想や指導計画に活用したりする。

|                                |
|--------------------------------|
| ♡わくわくしたりじっくり考えたりしながら楽しく活動できた。  |
| ★活動の中で新しい発見をしたり、新しい考えが浮かんだりした。 |
| ★プラ段の組合せやつなぎ方などを工夫して表すことができた。  |
| ♡次の時間の活動が楽しみだ。                 |

|   |
|---|
| ♡この活動に楽しく一生懸命に取り組むことができた。                   |
| ♡活動への取り組み方や、できたこと(形・イメージなど)に満足している。         |
| ★プラ段のよさを生かしてできることや、してみたいことをたくさん思い付いた。       |
| ★プラ段の組合せ方やつなぎ方などを工夫して、思い付いたことをやってみることができた。  |
| ★友達と一緒に活動することで、新しい考えが浮かんだり、よりよい工夫を思い付いたりした。 |
| ★自分や友達の考え方や表し方のちがいやよさを見付けたり、伝え合ったりすることができた。 |
| ♡難しいことや小さな失敗があってもあきらめずに乗り越えられた。             |
| ♡プラ段を使った別の活動がしたい。他の材料でも、このような活動をしてみたい。      |